

[3] モデル10施設の事例紹介/モデル施設一覧

[モデル施設一覧]

立地	モデル施設
海	1 特別養護老人ホーム 第2シルバーコースト甲子園 https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684376082_200.pdf
	2 特別養護老人ホーム いやさか苑 https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684385141_709.pdf
	3 養護老人ホーム さくら苑 https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684376151_262.pdf
川・池	4 特別養護老人ホーム 清華苑 https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684376188_899.pdf
	5 むれさきデイサービス新宮 https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1686802735_236.pdf
山	6 特別養護老人ホーム 野桑の里 https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684378232_132.pdf
	7 特別養護老人ホーム 加古川さくら園 https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684378258_352.pdf
	8 特別養護老人ホーム 山路園 https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684378285_83.pdf
	9 特別養護老人ホーム むらおかこぶし園 https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684378315_756.pdf
	10 特別養護老人ホーム にしのみや苑 https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684378339_247.pdf

※県老協ホームページにリンクしております。

- ・次ページ以降において、モデル施設の概況をまとめておりますので参考になりそうなモデル施設から詳細情報をご確認ください。
- ・これらの情報は、県老協のホームページに掲載しておりますので上記施設のURLをクリックして確認して下さい。
- ・モデル施設の詳細情報には、「推進体制」「課題別の所要時間・対応人数」「進め方のポイントや工夫」「課題と対策」など実際に対応した状況が記載されておりますので参考にして下さい。

[3] モデル10施設の事例紹介（その①）

BCPマニュアル作成に取り組んで頂いたモデル10施設の概況です。 立地別（海・川・山）に分類し、施設概況及び主な被害想定等を簡単にまとめておりますので、参考に なりそうなモデル施設より確認することができます。モデル施設の詳細な情報は（報告資料や関係資料）、 下段に記載しているURLをクリックすると県老協のHPにリンクされ閲覧できます。			
モデル施設概況			
立地	施設名・所在地施設概要	立地と被害想定・対応方法	メリット・デメリット・苦労話 ・アドバイスなど
海	第2シルバー コースト甲子園（特 養）5階建 ・西宮市枝川町17ー 55 ・ユニット型特養 ・職員数132名 ・入居数120名 ・併設デイ30名 ・ショートステイ10 名	(立地) 海：甲子園浜に直面している施設 (災害リスク) 津波・高潮・洪水 (被害想定) ①震度6弱で最高津波水位は3 .7m、地震発生から112分後に到達。②武庫 川氾濫による浸水想定区域0.5～3m (避難方法) 自力避難困難者が多いことか ら、昼夜共に籠城型で3階以上への垂直避 難	メリットは 、ある程度出来上がったマニユ アルを基に作成できたこと。 デメリットは 、対応する項目が多く時間と労 力がかかること。 アドバイスとして 、出来るだけ多くの職員に 関わってもらうことにより連帯感・情報共有がで きる。地域住民との協体制の確認が必要なこ と。周知のためにポケットサイズのハンドブック を作成予定。 最初は、より大きな災害を想定してしまい内容 が手に負えないことになりそうでしたが3階以上 に避難すれば助かる程度の計画で進めていくこ とをアドバイスいただき、考えやすくなりました。 なるべく早く作成して何回も見直していくうちに 自身に合ったBCP項目や訓練方法などが見え てきますので継続して作り上げていくことが大切 です。
https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684376082_200.pdf			
海	いやさか苑（地域密 着型特養） ・姫路市白浜町宇佐 崎北1丁目29番地 ・職員数46名 ・入居数29名 ・ショートステイ10 名	(立地) 姫路市の南東に位置し海岸まで1 キロ。 (災害リスク) 洪水・津波 (被害想定) 震度6強の地震の場合、河川の 氾濫に注意。0.5～3.0mの浸水が想定 (避難方法) 介護度が高い利用者の避難を考 えると、水害の場合は施設内での垂直避難 が妥当。	全ての課題対応について 、考え方・担当・実施 手順・進め方のポイント・課題と対策等別途資料 （県老協HP）にポイント記載資料を添付してい るのでご参照下さい。 メリットとして 、マニュアル作りを通して職 員間で対応について議論できたこと、ベクトルを 合わせられたこと、重要事項の共有ができたこ となど、考え方や意識の変革につなげることが できた。テーマは変わっても今回のように各事業の管 理者が集い行う作業部会の重要性を認識できた。
https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684385141_709.pdf			
海	さくら苑（養護） ・南あわじ市福良丙 22番地4 ・職員数46名 ・入居数104名	(立地) 海拔6.4m、急傾斜地の崩壊警戒区 域 (災害リスク) 津波・土砂災害 (被害想定) 当初、南海トラフ地震を想定。 南海トラフ地震により業務継続不能と判断 し、1週間程度の停電・断水を想定した。	メリットは 、自施設の自然災害について改め て考える機会となったこと。ハザードマップや自 治体の情報を確認したり、地図のマッピングなど を行うことで、災害時の状況をより具体的にイ メージできるようになったこと。 デメリットは 、コロナ禍で業務に制限がある なかでの対応であったため、検討する時間が取り づらかった。
https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684376151_262.pdf			
川	清華苑（特養） ・明石市大久保町大 窪3104-1 ・職員数75名 ・入居数100名	(立地) ハザードマップ上での被害はないた め、地震を想定したマニュアルを作成。 (災害リスク) 地震 (避難方法) 阪神大震災では大きな被害なく 被災住民80名受け入れ、今後も同様な対応 予定。	アドバイスとして 、今後策定する方へ、条件 や規模が類似する他の施設の内容や助言を参考に 進めて頂きたい。 メリットは 、BCP マニュアルを作成すること により防災に関する意識を強く持つことができ、災 害時には職員として何が出来るかを考えるよう になった。 ・施設で出来る事、できないことがはっきり知 ることができた。補充しないといけない物品、新 たに購入しないといけない物についても気付き話 し合うことができた。
https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684376188_899.pdf			

[3] モデル10施設の事例紹介（その②）

モデル施設概況			
立地	施設名・所在地施設概要	立地と被害想定・対応方法	メリット・デメリット・苦労話・アドバイスなど
川・デイ	むれさきデイサービス新宮 (単独デイ) ・鉄筋1F平屋建 ・たつの市新宮町井野原481-1 ・職員数：34名	(立地) 揖保川・栗栖川氾濫による浸水想定区域内 (災害想定) 河川氾濫による浸水0.5～3m、山崎断層地震震度6弱 (被害想定) 入所者がいないため車での送迎できる間の対応を検討。線状降水帯の発生による警報が出た場合や「高齢者等避難」が発令された場合での判断 (避難方法) 平屋のため、垂直避難は不可。車が使える前提で近隣避難所に避難。不可の場合は鉄筋の2F建以上の建物が少ない状況。	アドバイスとして 、職員調査と居住時マップは時間と労力のかかる大変な作業ではありますが、実施していただいた方が良いと思います。作成してみて気づくことが多いです。BCPは協会からひな型も送付されていますので、ひとまず自施設用に記入して完成させ、その後見直しを続けていけば良いと思います。当施設のBCPも作成したもののまだまだ見直しが必要です。訓練もまだ実施しておらずこの1年で対応していこうと思います。 メリットは 、それぞれの作業の締切が来るので、作業が進んだことと、職員アンケートを実施し、実際の稼働が見えてきたこと。 デメリットは 、それぞれの課題の締切が来るので、他の仕事が後回しになったこと。
https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1686802735_236.pdf			
山	野桑の里（特養） ・赤穂郡上郡町野桑3027番地 ・職員数：75名 ・入居数：50名 ・ショート：5名 ・デイ：25名	(立地) 山と川の間に立地する。 (被害想定) 地震災害をベースに土砂災害・水害、感染症の蔓延を想定。その後追加で停電時や積雪時を想定・検討中。 (避難方法) 建物内垂直避難か？	メリットは 、一言でいえば「意識が変わる」です。同じ事象に対してもどのように備えるか、受け止めるかで大きな違いがあると思います。 BCPを作成し、一部分を共有することだけでも有事の際の判断・対応が円滑になったように感じています。「大変だ（やりたくない）」というマイナスな気持ちから、良い意味での「諦め」「覚悟」に至るプロセスが短くなりました。また有事（通信障害・停電・積雪・感染症蔓延等）を経験するたびに「今度同じことが起きたらどうしようか」「同じことが起きないようにどうしようか」と有事の際だけで完了するのではなく、今後に向けた準備・対策に繋げる意識が強くなり、行動に変化が出てきました。 デメリットは 、一言で「大変」です。真剣に向き合えば向き合うほど大変な内容です。一度作成したからそれで終了とはなりません。
https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684378232_132.pdf			
山	加古川さくら園（特養） ・加古川市東神吉町神吉字北山1844-5 ・職員数70名 ・入居数50名 ・併設デイ有	(立地) 施設の東側に山が迫っている。過去に土砂災害。ハザードマップではリスク想定なし。 (被害想定) 台風、大雨による土砂災害。 (避難方法)	アドバイスとして 、職員アンケートにおいて、不安や不公平感、またモチベーションを下げないように説明することが難しい。通常業務以外の作業に充てる人員に余裕がないため、より具体的な計画の作成にいたらなかった。 訓練や有事の際の有効な計画作成のためには、細部にわたり必要事項を予想し、その対策を立案することが不可欠であることを改めて感じさせられた。日々、業務に余裕のない中であるが、時間を掛けてでも多くの職員に参加させ完成させていきたい。 メリットは 、災害発生時の業務遂行について意識を含めて事前に準備できること
https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684378258_352.pdf			

[3] モデル10施設の事例紹介（その③）

モデル施設概況			
立地	施設名・所在地他施設概要	立地と被害想定・対応方法	メリット・デメリット・苦勞話 ・アドバイスなど
山	<p>山路園（特養）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波市山南町野坂181-1 ・職員数78名 ・入居数70名 ・併設ケア、デイ有 	<p>(立地) 日本海、瀬戸内海からは離れた地で、山に囲まれている場所に立地している。近くには加古川が流れている</p> <p>(被害想定) 土砂警戒区域（イエローゾーン）、浸水被害はない</p> <p>(避難方法) 職員の各種待機命令や危難準備の基準等作成している。福祉避難所にも登録。</p>	<p>メリットは、現在の園の設備がどの程度整っているのか、どの部分を準備しないといけないかが把握できた。</p> <p>また、アンケートを取ったことで、どの職員も通勤さえ可能であれば80%以上の職員が出動する意向を確認でき安心感がもてた。</p> <p>メンバーは何度も頭の中で、災害をシュミレーションしたので、施設設備の場所を理解できるだけでなく、どう動くか・・・もディスカッションの中でイメージすることができた。</p> <p>デメリットは、マップの作成に時間がかかった。難しかった通常のケアを行った後の作成だったので、体力と頭が疲れた。</p> <p>アドバイスとして、地図は保管方法を検討してから、早めに取り掛かるのがいいと思います。4つの課題を検討しているときは、何をしているかよくわからなかったが、課題をクリアすると、おおむねマニュアルの概要がわかりだすと思います。</p>
	<p>https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684378285_83.pdf</p>		
山	<p>むらおかこぶし園（ユニット型特養）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美方郡香美町村岡区村岡2205 ・職員数57名 ・入居数60名 	<p>(立地) 但馬地域の山と山に囲まれた田んぼの中に立地</p> <p>(被害想定) 災害想定は、「兵庫県C Gハザードマップ」を使用しました。当施設は土砂災害警戒区域になっており、土石流や地滑りの危険性があります。</p> <p>また、県下一の豪雪地帯であり、冬には積雪が2メートル以上になることがあります。雪の重みで電線が切れ、停電になることが冬期間に2～3回はあります。</p> <p>(避難の判断基準) 平屋なので垂直移動ができない、車は3台しかなく、車いすの乗車は一度に3台までという状況のなか、どうやって避難所へ移動するのか悩みました。皆と話し合っ「ろう城」という方法で進めていくことにしました。</p>	<p>苦勞したところは、まずBCPについて職員の理解や共通認識を図ることです。今まで担当メンバー以外はほとんど耳にすることがなかったかと思います。全職員対象に、何回にも分けて、必要性や内容について説明しました。訓練後も皆から感想や課題を募り、話し合いをしてBCPの修正を行いました。職員自身が関わるということを今後も意識していきたいと思っています。</p> <p>アドバイスとして、鳥野先生から「高齢化が進んでいるがローカルの良さは人と人の繋がりがあるところ」との言葉があり、平時から地域住民と交流を図り、好ましい関係性を築くことも防災の一つと感じています。来年度は地域住民に参加を呼びかけ、一緒にシミュレーション訓練を行う予定です。訓練を通して見えてきた課題について検討を重ね、より実行性のあるBCPにしていきたいと思っています。</p> <p>メリットは、不十分どころが明確になったこと。大丈夫というところも分かった。</p>
	<p>https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684378315_756.pdf</p>		
山	<p>にしのみや苑（特養）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西宮市甲山町53番地 ・職員数59名 ・入居数67名 ・ショート7名 ・デイ22名 	<p>(立地) 西宮市甲山町に位置する3階建の特別養護老人ホーム</p> <p>(被害想定) 土砂災害</p> <p>(避難判断基準) 隣接した北側に崖（急傾斜地）があり土砂災害警戒区域に含まれています。大雨特別警報（土砂災害）発令時点でBCP対策本部（にしのみや苑事務所）を設置しBCPを発動します。（土砂災害の前兆現象を確認した際は西宮市からの情報を待たずに遅滞なく設置します。平常時の北側斜面の様子を職員間で確認し異変時に気付けるように意識づけを行いました。実際の大雨の日に建物北側の様子を観察しました。</p>	<p>アドバイスとして、すべきことが見えてきたと同時に不十分さに気付き不安が募りました。BCPの作成にとどまらず理解し浸透していくことが大事で見直しや更新が重要と話しあいました。BCPからBCMへ（周知・訓練・運用）。隣接施設との情報共有や協力体制の強化が必要で地域や家族会（にしのみや苑入所の家族をもって組織。会員相互の親睦と啓発を図る会）との連携には課題もあり今後改善していく必要性があります。BCP作成で防災に関する世の中の物事に意識がいくようになり個人の防災対応能力が向上したと思います。実際にBCPを発動することが無いのが一番ですが、今後も災害に対する備え方、対処の仕方を学び、実践を繰り返し改善していきます。</p> <p>メリットは、防災対策の内容が濃くなると同時に不十分さに気付くようになったこと。防災対応能力が向上したこと。地震の日常生活にも活かせるので為になったこと。すべきことが見えてきた分不安も募ることなど。</p> <p>デメリットは、BCP通りに動けるのか不安なこと。</p>
	<p>https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684378339_247.pdf</p>		

[資料編①]

下記、研修会等関連動画及び資料は、兵庫県老人福祉事業協会のホームページに格納されております。記載のURLをクリックして必要データを確認して下さい。

<研修会等関連動画&関係資料>

内 容	動画（YouTube） & 関係資料URL
<p>1. 調査研究委員会 研修会（動画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「防災・感染症BCP作成に向けて 押さえておくべきポイント」 ・講師：鳥野 猛氏（びわこ学院大学 教授） ・実施：2021年9月30日 ・対象：会員全施設向け <p>（関係資料）・・・上記研修会資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・感染症事業継続計画（BCP）作成の考え方 介護事業所におけるBCP作成支援研修 ・防災・感染症事業継続計画（BCP）作成の考え方と留意点 3日間の停電・断水を前提とした大規模災害時に 職員出勤率50%としてイメージ 	<p>調査研究 研修会動画（前編） https://youtu.be/sGuDpu9ou8s</p> <p>調査研究 研修会動画（後編） https://youtu.be/WVhKmzL4UTg</p> <p>https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684375111_643.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684375196_305.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684375229_324.pdf</p>
<p>2. 調査研究委員会 研修会（動画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：BCP作成モデル10施設キックオフミーティング ・講師：鳥野 猛氏（びわこ学院大学 教授） ・実施：2021年11月29日 ・対象：BCP作成モデル10施設向け <p>（関係資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業継続計画（BCP）策定のための職員調査 ・優先順位と判断基準 	<p>https://youtu.be/6F8GkkbQJ3c</p> <p>https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684375357_636.11.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684375383_451.pdf</p>
<p>3. 調査研究委員会 研修会（動画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「事業継続計画（BCP）作成マニュアル説明について」 ・講師：鳥野 猛氏（びわこ学院大学 教授） ・実施：2022年3月16日 ・対象：BCP作成モデル施設向け <p>（関係資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続計画（BCP）作成マニュアル説明について ・BCP共通マニュアル 施設系 自然災害に関するBCP ・ " " 通所系 " ・ " " 訪問系 " 	<p>https://youtu.be/PsEtISvZY24</p> <p>https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684374907_835.3.16.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684374759_232.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684374819_305.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukyo.jp/cgi/image/file/1684374854_685.pdf</p>

※関係資料：上記関係資料は、PDFで県老協ホームページにアップしております。資料の作成・加工等で原本資料（ワード等）が必要な場合は、個別にお送りしますので、兵庫県老人福祉事業協会までご連絡下さい。
担当：山内

※掲載期限：資料編①②のリンクデータの掲載期限は、R6年3月31日までの予定です。

[資料編②]

下記、研修会等関連動画及び資料は、兵庫県老人福祉事業協会のホームページに格納されております。
記載のURLをクリックして必要データを確認して下さい。

<研修会等関連動画&関係資料>

内 容	動画（YouTube）&関係資料URL
4. 調査研究委員会 報告会（動画） <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「BCPマニュアル作成取組モデル施設報告会」 ・報告：BCP作成モデル4施設の皆さん ・コメンテーター：鳥野 猛氏（びわこ学院大学 教授） ・実施：2022年7月27日 ・対象：会員全施設向け <p>（関係資料）・・・ モデル10施設の報告資料</p> <p>（海）特別養護老人ホーム 第2シルバーコースト甲子園</p> <p>（海）特別養護老人ホーム いやさか苑</p> <p>（海）養護老人ホーム さくら苑</p> <p>（川・池）特別養護老人ホーム 清華苑</p> <p>（川・デイ）むれさきデイサービス新宮</p> <p>（山）特別養護老人ホーム 野桑の里</p> <p>（山）特別養護老人ホーム 加古川さくら園</p> <p>（山）特別養護老人ホーム 山路園</p> <p>（山）特別養護老人ホーム むらおかこぶし園</p> <p>（山）特別養護老人ホーム にしのみや苑</p>	<p>0727調査研究委員会 報告会（①前半） https://youtu.be/yqSkIM8TyYk</p> <p>0727調査研究委員会 報告会（②後半） https://youtu.be/aXtUVR16ngM</p> <p>https://www.hyogo-kenroukvo.jp/cgi/image/file/1684376082_200.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukvo.jp/cgi/image/file/1684385141_709.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukvo.jp/cgi/image/file/1684376151_262.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukvo.jp/cgi/image/file/1684376188_899.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukvo.jp/cgi/image/file/1686802735_236.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukvo.jp/cgi/image/file/1684378232_132.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukvo.jp/cgi/image/file/1684378258_352.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukvo.jp/cgi/image/file/1684378285_83.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukvo.jp/cgi/image/file/1684378315_756.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukvo.jp/cgi/image/file/1684378339_247.pdf</p> <p>https://www.hyogo-kenroukvo.jp/cgi/image/file/1685930745_636.pdf</p>
5. （関係資料） <ul style="list-style-type: none"> ・施設系（記載例）新型コロナに関するBCP様式集 	<p>https://www.hyogo-kenroukvo.jp/cgi/image/file/1685930745_636.pdf</p>
6. （関係資料） <ul style="list-style-type: none"> ・厚労省 介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）作成支援に関する研修 介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）作成支援に関する研修資料・動画 厚生労働省 (mhlw.go.jp) 	
7. （関係資料） <ul style="list-style-type: none"> ・「介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続ガイドライン」厚労省 老健局 令和2年12月8頁 自然災害（地震・水害等）BCPのフローチャート（本報告書39頁資料） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000704787.pdf 	

※関係資料：上記関係資料は、PDFで県老協ホームページにアップしております。資料の作成・加工等で原本資料（ワード等）が必要な場合は、個別にお送りしますので、兵庫県老人福祉事業協会までご連絡下さい。
担当：山内

※掲載期限：資料編①②のリンクデータの掲載期限は、R6年3月31日までの予定です。